

講座開設にあたって、

白井市では、平成14年度に自然環境の予備調査を実施し、その結果に基づいて保全すべき良好な自然環境を抽出しました。平成16年度からは5年計画で、谷田地区を皮切りに候補地の生物多様性、保全すべき環境を明らかにし、保全対策を提言していく計画です。生物や自然環境の保全に関心があり、市内の環境保全に積極的に提言していきたいと考えておられる方は、ぜひともご応募下さい。

環境保全への多様な思いと取り組み

合意形成

まちづくりへ、地図に書き込む

## 白井市自然環境調査の目的

市民がその健康・安全・福祉を十分に享受した生活を送るうえで、居住地内に存在する自然環境はこれを保証する貴重な自然資源である。日本人にとって人里の身近な自然は、子供たちが野遊びを通じて自然とふれあい原体験を形成する場として、微気象条件の緩和地として、災害時の安全拠点として、計り知れない価値を有している。自然は、それが原始的であれ、2次的自然であれ、我々人類にとって必要不可欠な存在なのである。

日本政府は自然の保全と再生のための基本計画として、平成14年3月に「新生物多様性国家戦略」を策定した。生物多様性の保全とその持続的利用という理念を行動目標として具体化し、施策を展開していくために国は農林水産業などの1次産業を、国土の開発や住環境の保全に係る民間・公共事業においては、国土の空間特性・土地利用に応じた施策を展開し、野生生物の保護管理、生物資源の持続的利用、自然とのふれあいといった横断的施策、さらに基盤的施策として生物多様性に関する基礎調査や情報整備、人材育成、経済措置、国際的取り組みを行うとしている。こうした国家戦略を受け、都道府県や市町村においても、それぞれの立地環境に応じた生物多様性保全とその持続的利用に関する施策の展開が計られるようとしている。

自然資源を将来にわたって健全に保全して子孫に伝えていくために、白井市内の自然環境とそこに生息・生育する動植物の現況を予備的に調査し、自然環境保全に向けた行動計画を立案し、市に提案する。

## 講座の内容 市町村の環境保全に向けた生物多様性及び環境調査の方法論とその実践

市町村における自然環境調査ではどんなことを行うのか？

千葉県隣接市町村における自然環境調査の流れと、その内容

調査結果はどのように生かされるのか

自然環境保全のための具体策

天然記念物(印西牧のなごりを示す草原植生と昆虫相、白井のサギ繁殖地)

農地の IBM(ナシ農園の生物多様性管理)

市立公園、谷津田(谷田、

施策として展開して行くための方策と市民のサポート

個別の開発行為に関する事前審査(人為インパクトの環境への負荷を計算評価する。市民アセスメント)

評価方法とレポート課題

自分の興味・関心・特技を生かした自然環境調査の企画・計画書作成